



コロナ禍での制約はありましたが、二日間、晴天の中で気持ちよく米工祭を実施することができました。今年も外部からの来校はご遠慮いただき、生徒のみ、午前中の実施としました。



米工祭で一致団結

いろいろな行事が延期、中止しており、学校行事、HR活動で生徒が活動できる機会が少なくなっています。コロナ禍前の米工祭は外部へ一般公開し、三日間の日程で行ってきましたが、今年も午前中のみ二日間での米工祭でしたが、生徒には貴重な学校行事でした。

文化の部では、ステージ発表を楽しく一生懸命に取り組み、片付けもきちんと行いモラルある態度に感心しました。クイズでは米工の学校名が一時期米子西高等学校だったという問題がありましたが、生徒のみなさんは知らなかったようですね。昭和24年から4年間、県内の学校で多くの合併が行われ、本校も米子西高校と合併し、米子西高等学校工業科として存在していました。その頃の米子西高校は今のふれあいの里がある場所でした。近いところに米子東、米子西、米工と3校が存在していたのです。

体育の部では、皆が自分のベストを尽くして一生懸命頑張り、またそれをクラスの仲間が応援する姿を大変気持ちよく見ることができました。リレーでは最後になってもクラスの仲間と一緒にゴールし、クラスの結束力を感じました。自分の出番で応援された時は気持ち良かったことと思います。一方で、応援した方も気持ち良かったことと思います。応援するという事はプラスの関わりを与えることですから、応援しようと思った瞬間に気持ちはもう前向きなになっています。不思議なことにプラスの関わりを与えるとプラスの関わりが返ってきます。

米工での高校生活の中で、生涯の友と呼べる親友が何人かできることでしょうか。それはじっとしていてできるものではありません。お互いに関わり合い、励まし合うから親密になれるのです。米工祭を通じて関わり合えたように、これからも科の仲間や部活の仲間と励まし合い良き親友をつくって卒業してください。

PTA役員の皆様には、大変暑い中、米工祭の記録撮影、飲み物のバザーとご支援いただき大変ありがとうございました。これまでの無観客で実施した米工祭の様子は広報担当の皆様へ鵬翔で伝えていただきました。毎年取り組まれる広報担当のみなさんのレンズを向ける狙いどころが年々洗練され生徒の生き生きとしたポイントをしっかりと捉えていらっしゃると感じます。鵬翔を楽しみにしています。

校長 松川 明義



【行事予定】10月11日(火)～14日(金)：2学期中間考査

11日(火)：頭髪服装指導

14日(金)：リスニング英検

今週末の大会等：国体（ウエイトリフティング：栃木）



米工 HP